

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	インターンシップ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・官能評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
《授業科目における学習内容》						
AI・IOT・ロボット・IT分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高めることで社会人としての力を身に付けることを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・インターンシップ事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
《履修に当たっての留意点》						
学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習1			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習2			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習3			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習4			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習5			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習6		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習7		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習8		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習9		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習10		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習11		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習12		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習13		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習14		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習15		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	インターンシップ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・官能評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
《授業科目における学習内容》						
AI・IOT・ロボット・IT分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高めることで社会人としての力を身に付けることを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・インターンシップ事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習16			
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習17			
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習18			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習19			
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習20			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習 の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習21		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習22		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習23		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習24		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習25		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習26		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習27		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習28		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習29		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習30		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	インターンシップ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・官能評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
《授業科目における学習内容》						
AI・IOT・ロボット・IT分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高めることで社会人としての力を身に付けることを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・インターンシップ事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
《履修に当たっての留意点》						
学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習31			
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習32			
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習33			
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習34			
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習35			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習 の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習36		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習37		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習38		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習39		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習40		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習41		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習42		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習43		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習44		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習45		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	インターンシップ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・官能評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>AI・IOT・ロボット・IT分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高めることで社会人としての力を身に付けることを目的とする。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・インターンシップ事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
<p>《授業外における学習方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習46			
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習47			
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習48			
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習49			
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習50			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習 の具体的な内容
第51回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習51		
第52回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習52		
第53回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習53		
第54回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習54		
第55回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習55		
第56回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習56		
第57回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習57		
第58回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習58		
第59回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習59		
第60回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習60		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	インターンシップ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・官能評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
《授業科目における学習内容》						
AI・IOT・ロボット・IT分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高めることで社会人としての力を身に付けることを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・インターンシップ事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
《履修に当たっての留意点》						
学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第61回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習61			
第62回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習62			
第63回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習63			
第64回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習64			
第65回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習65			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習 の具体的な内容
第66回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習66		
第67回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習67		
第68回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習68		
第69回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習69		
第70回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習70		
第71回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習71		
第72回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習72		
第73回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学73		
第74回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習74		
第75回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習75		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	インターンシップ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・官能評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
《授業科目における学習内容》						
AI・IOT・ロボット・IT分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高めることで社会人としての力を身に付けることを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・インターンシップ事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第76回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習76			
第77回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習77			
第78回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習78			
第79回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習79			
第80回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習80			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習 の具体的な内容
第81回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習81		
第82回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習82		
第83回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習83		
第84回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習84		
第85回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習85		
第86回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習86		
第87回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習87		
第88回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習88		
第89回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習89		
第90回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習90		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	インターンシップ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・官能評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>ロボット分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高めることで社会人としての力を身に付けることを目的とする。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・インターンシップ事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
<p>《授業外における学習方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第91回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習91			
第92回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習92			
第93回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習93			
第94回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習94			
第95回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習95			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習 の具体的な内容
第96回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習96		
第97回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習97		
第98回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習98		
第99回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習99		
第100回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習100		
第101回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習101		
第102回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習102		
第103回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習103		
第104回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習104		
第105回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習105		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	インターンシップ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	安達 隆之	実務経験とその関連資格	化粧品会社にて、基礎研究(研究開発室)・美容機器開発(開発部)・官能評価(美容研究課)・製品企画(マーケティング部)・原価管理(製品管理課)・人事全般(人事部)の業務を10年にわたり担当			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>ロボット分野の企業や大学、公的機関等での実務的な研修を通じて、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高めることで社会人としての力を身に付けることを目的とする。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 研修報告書・研修日誌・研修報告会による評価:70% 2. 研修態度・研修先評価:10% 3. 出席状況:20%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修日誌 ・インターンシップ事前授業で使用した資料 ・各研修先にて参考となる参考書や実習書(任意) 						
<p>《授業外における学習方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを復習すること ・新しく学んだ内容について理解できるように復習すること ・研修先の事業内容について自主的に学ぶこと 						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>学外研修は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高める貴重な機会となり、後に控える就職活動や就職後に必要となる社会人基礎力を身に付ける過程となる。その為日々の学びを大切に、専門技術職としての糧となるよう意識し臨むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第106回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習106			
第107回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習107			
第108回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習108			
第109回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習109			
第110回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成 	
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習110			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習 の具体的な内容
第111回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習111		
第112回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習112		
第113回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習113		
第114回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習114		
第115回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習115		
第116回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習116		
第117回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習117		
第118回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学ぶ技術について理解し実践できる 研修先で学ぶ知識について理解し説明できる	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	研修先による作業・制作・実務および学習118		
第119回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学んだ技術・知識について報告会を通じて報告する	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	インターンシップ報告会		
第120回	実習形式	授業を通じての到達目標	研修先で学んだ技術・知識について報告会を通じて報告する	研修日誌 参考となる資料 (任意)	・研修内容の復習、不明点等の調査・確認、翌日の研修内容の確認を行う ・上記内容を反映した日誌の作成
		各コマにおける授業予定	インターンシップ報告会		